

みんながもっとつながるために 手話を知ろう!



**手話は、聴覚に障害のある人が
大切に受け継いできた独自の「言語」です。**

耳の聞こえる人が音声で会話するように、聴覚に障害がある人の多くは、手話を使って思考力を身に付け、コミュニケーションを図ります。

手話は大切に受け継がれてきた独自の言語である—という理解を深め、日々の生活の中で積極的に活用し、聴覚に障害がある人とのコミュニケーションの輪を広げていきましょう。

●手話は障害者基本法においてすでにひとつの言語として認められていますが、近年はさらなる普及をめざして「手話言語条例」を制定する自治体が増えています。本市も、令和3年9月、「岩国市手話言語条例」を制定しました。

岩国市手話言語条例について

「手話」は、手指や体の動き、表情を使って物の名前や概念、意思等を視覚的に表現するもので、ろう者※によって大切に受け継がれ、発展してきました。

2006年に国連で採択された「障害者の権利に関する条約」、2011年に改正された「障害者基本法」でも、手話は言語に含まれることが示されましたが、その認識は、市民の皆さんに十分に定着していません。

そこで、岩国市は、言語としての手話やろう者に対する正しい理解を広め、手話の普及、手話の習得機会の確保、手話による情報取得機会の確保を図り、ろう者を含む誰もが相互に助け合い、安心して暮らすことのできる地域共生社会を目指すため、令和3年9月27日、「岩国市手話言語条例」を制定しました。

※条例では、聴覚障害者のうち、手話を使って日常生活・社会生活を営む方を「ろう者」と定義しています。

基本理念

手話の普及並びに手話の習得及び手話による情報取得の機会の確保は、手話が独自の言語であり、ろう者が日常生活又は社会生活を営むために大切に受け継がれてきたものであるという認識の下に推進されなければならない。

市民の役割

市民の役割

条例の**基本理念**に対する理解を深め
手話に関する市の施策に協力するよう努める

ろう者の役割

手話の普及、手話の習得機会の提供に主体的に取り組むよう努める

手話関係者の役割

手話の普及、手話の習得機会の提供、手話による情報取得機会の提供に主体的に取り組むよう努める

市の責務

手話に関する施策を総合的・計画的に推進すること。

施策

- ◎手話の「普及」のための「**市民の手話に接する機会の充実**」等
- ◎手話の「習得機会の確保」のための「**ろう児等及びその家族が手話を習得する機会の充実**」等
- ◎手話による「情報取得機会の確保」のための「**手話通訳を行う者の養成及び確保**」、「**災害等緊急時における手話による情報提供**」等

みんなが **もっと** つながるために

手話を知ろう!

もくじ

岩国市手話言語条例について 2

こんなことで困っています 4

普段の何げない動作が
手話として使えることも 5

手話を知ろう「あいさつ」 6

手話を知ろう「思いを伝える」 8

手話を知ろう「日時・交通」 11

手話を知ろう「災害時」 12

覚えておきたい自己紹介 13

サポートするときのポイント 14

手話や要約筆記を学ぶには／サークルに参加しよう 16

※手話は、使う人やコミュニケーションをとる相手などによって異なりますので、この冊子で紹介している手話と違う表現を使うことがあります。

「ヘルプマーク」や「ヘルプカード」を見かけたら…

ヘルプマークは、援助や配慮を必要としていることを周囲の人に知らせるマークです。身につけている人を見かけたら、電車・バス等の席を譲る、声をかけるなど、思いやりのある行動をお願いします。

ヘルプカードは、持病やかかりつけ医、血液型などの情報を記載した小型カードです。緊急通報の支援等をお願いします。



こんなことで 困っています

聞こえかたはさまざま

話し言葉や周囲の音などが聞こえにくかったり、ほとんど聞こえなかったりするなど、どのくらい聞こえるかは人によってさまざまです。補聴器を使えば音声でコミュニケーションをとれる人もいますが、そうでない人もいます。

耳が聞こえない・聞こえにくい人が、よりわかりやすくコミュニケーションをとるためには、目に見える言葉として「手話」が有効です。

困っていること

外見では気づいてもらえない

耳が聞こえない・聞こえにくいことは、外見からはわかりにくいので、困っていても、それをほかの人に気づいてもらえないことがあります。



音声による放送に気づかない

駅や商業施設などの放送による案内が聞こえません。また、病院や銀行などの口頭による呼び出しが聞こえません。



周囲の状況がわからない

自動車のクラクションなどが聞こえず、路上で危険な目にあうことがあります。また、災害時などの状況判断が遅れることがあります。



正しく伝わらないことがある

自分で声を出して話すことがうまくできない人もいますので、細かいことが伝わらず誤解を生むこともあります。



普段の何げない動作が 手話として使えることも

手話をはじめる前に

「手話は難しそう……」と思っている人もいるかもしれません。しかし、日々の生活で誰もが何げなくしている動作が、手話と同じように使えることがあります。手話と親しむために、次のような身近なものから積極的に使ってみましょう。

私

人さし指で、自分の胸をさす。



あなた

手のひらを相手に差し出す。また、手話の場合は相手を指さしても失礼にはなりません。



いいです

親指と人さし指で、マルをつくる。



だめです

両手をクロスさせて、バツをつくる。



暑い

うちわなどで自分をあおいでいるような動作。



寒い

寒さで体が震えているイメージ。



食べる

お茶わんのご飯を箸で食べるような動作。



飲む

コップで飲み物を飲むような動作。



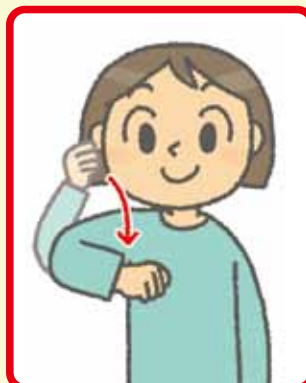


「あいさつ」

まずは、簡単なあいさつの表現から覚えましょう。あいさつは人づきあいの基本、コミュニケーションのはじまりです。

おはよう

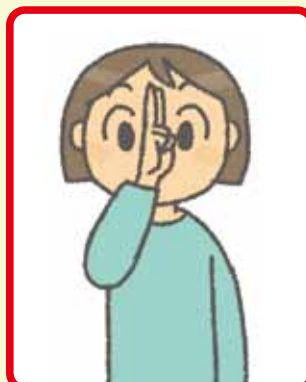
1
右手でこぶしをつくり、こめかみのあたりにあてて下ろす。
（「朝起きる」を表現）



2
両手の人さし指が向かい合うように立て、軽く曲げる。
（「あいさつ」を表現）

こんにちは

1
右手の人さし指と中指を立て、人さし指側を額にあてる。
（「昼」を表現）



2
両手の人さし指が向かい合うように立て、軽く曲げる。
（「あいさつ」を表現）

こんばんは

1
手のひらを前に向けた両手を顔の前で交差させる。
（「夜」を表現）



2
両手の人さし指が向かい合うように立て、軽く曲げる。
（「あいさつ」を表現）

※「おはよう」「こんにちは」「こんばんは」の、赤枠部分は「グー・チョキ・パー」で覚えれば簡単です！

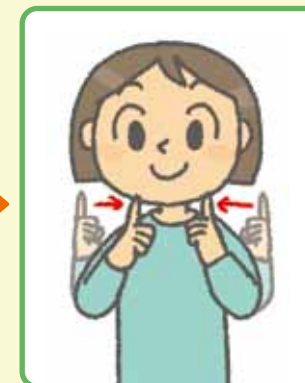
ワンポイント・アドバイス

目上の方は「目より上」で表現しましょう

兄や弟、姉や妹の手話は同じ表現ですが、兄や姉は上、弟や妹は下の位置にすることで違いを伝えることができます。目上の方は、自分の目よりも上に手を置いて表現しましょう。

はじめまして

1
左手の甲に右手のひらを重ね、上に上げながら人さし指以外を握る。
（「はじめて」を表現）



2
両手の人さし指が向かい合うように立て、左右から近づける。
（「会う」を表現）

よろしくお願いします

1
右手のこぶしを鼻にあてる。
（「よろしく・よい」を表現）



2
手を開き、頭を下げながら、手を前に出す。
（「お願い」を表現）

ありがとう

1
左手の甲に右手を垂直にのせて上に上げる。（力士の手刀と同様）



2
頭はおじぎをするように軽く下げる。

ごめんなさい

1
親指と人さし指で眉間をつまむ。



2
手を開き、指をそろえて下へおろしながら頭を下げる。

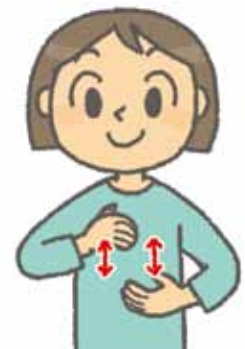


「思いを伝える」

日常生活でのさまざまな思いを伝える表現を覚えましょう。ポイントとなる手話が伝われば、コミュニケーションは深まります。

うれしい・楽しい

わん曲させた両手を折り曲げて、親指以外の指の指先を胸に向け、交互に上下に動かす。



悲しい

親指と人さし指の先をつけて目の下にあって、涙を流すように少し左右にゆらして下げる。



びっくり

両手の指先を折り曲げて両目に向け、同時に前に出す。（「目玉が飛び出る」イメージ）



きれい

手のひらを上向きにした左手に、右手の手のひらをあわせ、右手を右にすべらせる。



痛い

痛いところ（ここでは頭）の近くで右手の指を軽く曲げて小刻みに震わせる。



疲れる

甲を前にした両手の指を開き、胸のあたりから両手の指先をだらりと下ろす。



おなかがすく

おなかに右手の手のひらをあて、へこますようにしながら下げる。



のどがかわく

右手の指先をのどにあてて、軽くなでる。



おいしい

右手の手のひらを右のほおにつけて、2回くらい軽くたたく。



まずい

右手の指の腹をあごのあたりにつけて、前に出す。



甘い

指をのばした右手の手のひらを口のあたりにつけて、回す。



辛い

軽く指をわん曲させた右手の手のひらを口のあたりにつけて、回す。



すっぱい

すばめた右手を口のあたりにつけて、開きながら前に出す。



熱い

下に向けた右手の指先をさっと上に上げる。



ワンポイント・アドバイス

手話は「表情」も大切にしましょう

手話は、手や指の動きだけでなく、「表情」がとても大切です。同じ言葉でも、笑顔で表現したり、顔をしかめながら表現したりすることで、相手に伝わるニュアンスがずいぶん変わります。



わかる

右手の手のひらで、胸のあたりをトントンと軽くたたく。



わからない

右手の指先で、右の肩のあたりを2回くらい上にはらう。



できる

右手の親指以外の4本の指先を、左胸から右胸の順にあてる。



できない・難しい

右手の親指と人さし指で、右ほおを軽くつねるようにする。



～したい

動詞のあとに、右手の親指と人さし指をのばしてのどに向け、指を閉じながら下げる。
（「好き」も同じ表現）



～ですか？

形容詞のあとに、右手の手のひらを自分に向けて顔の横あたりにおき、前を出しながら倒す。



～は何？

名詞のあとに、右手の人さし指を立て左右に軽く振る。
（「場所」のあとにつければ「どこ？」の意味に）



簡単な日時の表現を覚えておきましょう。また、移動手段として使うことの多い交通機関の表現も覚えておくと便利です。

■簡単な日時

昨日

右手の人さし指を立てて、肩のあたりから後ろに動かす。



今日

両手の手のひらを下に向けて並べ、少し下げるようにする。



明日

右手の人さし指を立てて、肩のあたりから前を出す。



午前

時計の文字盤を意識して、右手の人さし指と中指をそろえて額につけ、自分の右側に傾ける。



午後

時計の文字盤を意識して、右手の人さし指と中指をそろえて額につけ、自分の左側に傾ける。



■交通機関

電車

横にのばした左手の人さし指と中指の下に右手の人さし指と中指を曲げてつけ、左手の指にそって動かす。



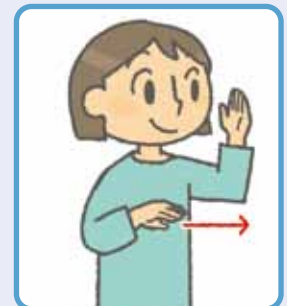
バス

両手の親指を立て、のばした人さし指の先をつけて、そのまま前を出す。



タクシー

左手を上げ、右手の親指とほかの指を並行にして（車をイメージ）前を出す。





「災害時」

耳が聞こえない・聞こえにくいと、災害時の状況判断が遅れがちになります。キーワードとなる手話を覚えて、いざというときのサポートに役立てましょう。

地震

両手の手のひらを胸のあたりで上に向けて、左右同時に前後に動かす。



津波

左手の手のひらを胸のあたりで下に向け、それを乗り越えるように指を開いた右手を前に出す。



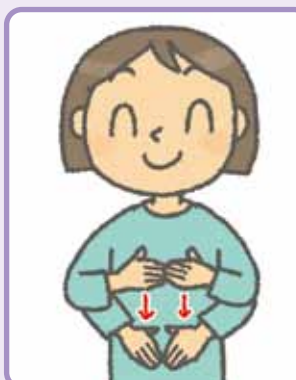
災害

立てた左手の親指と小指の上に、右手の親指と小指以外の3本の指で「く」形を描く。



安心

両手の手のひらを胸にあててから、なで下ろす。



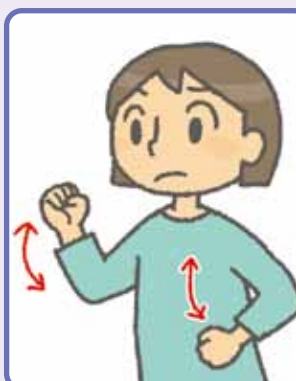
危ない

折り曲げた右手(や両手)の指先で、胸を2回ぐらいたたく。



逃げる

両手を握り、走って逃げるように交互にすばやく腕を振る。



ワンポイント・アドバイス

「遠回し」な表現は避けましょう

たとえば、何かを手伝ってほしいとき、手話で「今、手があいていますか」と表現するよりも「今、忙しいですか」と簡潔に表現するほうが、相手に誤解なく意思を伝えることができます。

覚えておきたい自己紹介

私の名前は〇〇といいます ～自分の名前を知ってもらうために～

私



1 人さし指で、自分の胸をさす。

名前



2 前に向けた左手の手のひらに、右手の親指をあてる。

自分の姓や名

～という



3 口の形（大きく口を開けてゆっくりと発声する）などで示す。

4 右手の人さし指を立てて、口もとから前に出す。

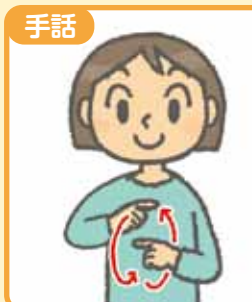
私は手話ができます ～手話ができることを知らせるために～

私



1 人さし指で、自分の胸をさす。

手話



2 両手の人さし指を向かい合わせてのばし、交互に前に回す。

～できる



3 右手の親指以外の4本の指先を、左胸から右胸の順にあてる。

私は聴覚に障害があります

私



1 人さし指で、自分の胸をさす。

耳



2 右手の人さし指で、自分の耳に触れる。

障害



3 握った両手を胸の前で横につなげ、左右に折るしぐさをする。

人々



4 胸の前で両手の親指と小指を立て手首を外側にひねる。

サポートするときのポイント

その人が望むサポートを

手話を覚えれば、コミュニケーションの輪が広がります。ただし、耳が聞こえない・聞こえにくい人みんなが手話を使えるとは限りません。目も見えづらい場合もあるので、そうした人には手話は使えません。

また、聞こえかたの程度によっては、音声によってコミュニケーションをとれる人もいます。事前にその人の状態をきちんと理解してから、手話だけでなく、その人が望んでいるコミュニケーション方法でサポートしましょう

手話以外でのコミュニケーション

1 「筆談」によるコミュニケーション

途中で耳が聞こえなくなった人がよく使うコミュニケーション方法です。

ノートやメモ帳などに文章を書きながら会話をしましょう。読み書きが苦手な人もいますので、あいまいな表現や、まわりくどい表現はさけて、短くわかりやすい文章を書くようにしましょう。



2 「空書」によるコミュニケーション

筆談するための紙などが無いときに役立つコミュニケーション方法です。

空間に指で大きくゆっくりと、なるべく画数が少なく、わかりやすい文字を書くように心がけてコミュニケーションをとりましょう。同じように、テーブルの上や手のひらなどに書く方法もあります。



3 「音声」によるコミュニケーション

少し聞こえる人がよく使うコミュニケーション方法です。

補聴器などを使えば少しは聞こえる人とは、音声による会話ができます。ただし、単に大声を出す逆には聞きづらくなることがあるので、はっきり口を動かしながら、ゆっくりと話すことを心がけましょう。



4 「その他」の方法によるコミュニケーション

相手の希望や必要に応じて、コミュニケーション方法を工夫しましょう。

たとえば、絵やイラストを描いたり、ジェスチャー（身ぶり）をしたりして、こちらが伝えたいことを表現するのも有効な方法です。さまざまな方法を組み合わせてみましょう。



！ コミュニケーションをとるときには、話の内容が相手に正しく伝わっているか、こまめに確認しながら会話を進めるようにしましょう。手話の技術などもさることながら、いちばん大切なのは、「相手に伝えようとする気持ち」と「相手が伝えたいことをわかろうとする気持ち」です。

手話Q&A

「手話は世界共通で使える言葉？」

手話は、世界共通の言葉ではありません。話し言葉や書き言葉として使われている日本語や英語などと同じように、手話も国や地域によって異なります。そのため、外国の人と手話で会話をするためには、その人の国や地域の手話を学ぶ必要があります。また、国際交流の場などで手話の共通語として使われている「国際手話」もあります。



同じ英語圏でも国が違えば手話も違います。

📖 岩国市で手話や要約筆記を学ぶには……

岩国市手話奉仕員・要約筆記者養成講座

岩国市では、

- 手話での日常会話を習得した「手話奉仕員」を養成する講座
 - 中途失聴者・難聴者に文字通訳を行う「要約筆記者」を養成する講座
- をそれぞれ開催しています。

市民手話講座

- 市内手話サークルが市民向けに開催している、1か月全4回（木曜夜間）の入門講座です。

講座修了者の中には、**聴覚障害者に手話通訳・文字通訳者を派遣する「岩国市手話通訳者等・要約筆記者派遣事業」**の通訳者として活躍されている方もおられます。皆さんの受講をお待ちしています。

！手話奉仕員・要約筆記養成講座については3月～4月頃、市民手話講座については10月頃の「広報いわくに」に開催日程・受講者募集記事を掲載しています。

📖 サークルに参加しよう

岩国市内には、手話の勉強会、聴覚障害者との交流会、ボランティア等の自主活動を行う手話サークルがあります。サークルに参加して楽しく手話を学んでみませんか。



サークル名	活動会場・時間等
岩国手話サークル 四ッ葉会	岩国市福祉会館 ●毎週木曜日 19:00～20:30
手話サークル さくらの会	岩国市福祉会館 ●毎週金曜日 10:30～12:00
手話サークル こだま	玖珂小学校 ●第1・3・5木曜日 10:00～11:30
ユアンディ	周東総合センター日向（ひなた） ●第1・3水曜日 10:00～12:00
由宇手話サークル You ゆう 遊	岩国市社会福祉協議会由宇支部 ●毎週火曜日 13:30～15:00

～同じ障害・悩みを抱える人と一緒に活動したい方～

市内のろうあ者の団体としては、「岩国聴覚障害者福祉会」があります。

手話奉仕員養成講座や手話勉強会への講師派遣等の手話の普及活動、学習会・親睦会の開催等の活動が行われています。

問い合わせ先

岩国市福祉部 障害者支援課

〒740-8585 岩国市今津町1丁目14-51

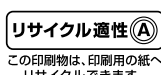
☎ 0827-29-2522 FAX 0827-22-2814

E-mail shou-shien@city.iwakuni.lg.jp

令和5年9月発行



ユニバーサルデザイン（UD）の考えに基づいた見やすいデザインの文字を採用しています。



禁断転載©東京法規出版
SG030170-1745714-X20